

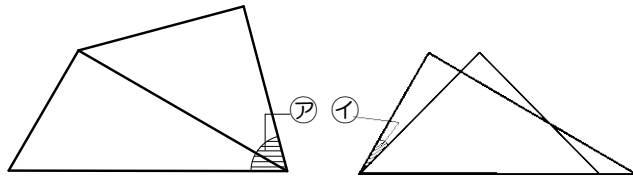
チェック

次の () にあてはまる数をかきいれましょう。

① 直角は (90) 度、半回転の角は (180) 度です。

② 右の図は、1組の三角じょうぎを使っていろいろな角をつくったものです。㊦、㊧の角の大きさを答えましょう。

㊦ (75) 度 ㊧ (15) 度



問題



時計の長いはりは、60分で1回転します。1回転したときにできる角度は、 360° だから、60分で 360° 回転するといえます。右の図のように、0分から15分で回る角度が何度になるかわかりますか？



三角じょうぎの直角のところと同じだから、 90° だと思います。分度きではかったら、 90° でした。



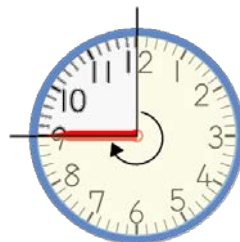
文字ばんを見て、 $12 \div 3 = 4$ だから、15分の4つ分で60分になると考えました。 $90^\circ \times 4 = 360^\circ$ になっているので、0分から15分まで回る角度は 90° といえます。



はやとさんは、文字ばんに注目したんですね。では、長いはりが、0分から45分で回る角度は何度でしょうか？



15分が3つ分で、45分になります。長いはりは、15分で回る角度が 90° だから、45分で回る角度は、 $90 \times 3 = 270$ で、 270° になります。



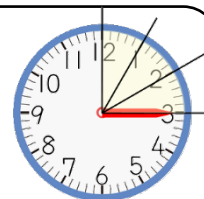
よくできましたね。次に、0分から20分で回る角度をもとめることができるかな？



文字ばんの文字が3から4にふえました。文字ばんの3と4と文字の間が、何度かがわかれば、0分から20分で回る角度がわかりますね。



文字と文字の間の角度は、どこも同じです。さっき、0分から15分で回る角度は 90° とわかりました。そして、右の図から 90° の間が3つにわかれるから、文字と文字の間の1つ分の式は、 $90 \div 3$ で、 \square° になります。だから、0分から20分で回る角度は、 $90 + \square$ を計算するといいです。



(1) \square にあてはまる数を答えましょう。 (30)



さい後の問題です。0分から40分で回る角度をもとめることができるかな？

(2) 0分から40分で回る角度をもとめましょう。数や言葉、式を使って説明しましょう。

(例) 20分が2つぶんで、40分になります。長いはりは、20分で回る角度が 120° だから、40分で回る角度は、 $120 \times 2 = 240$ で、 240° になります。

チェック ✓ 次の問いに答えましょう。

① 80÷6の筆算の答えのたしかめをします。
□ にあてはまる数やことばをかきいれましょう。

$$\begin{array}{r} 13 \\ 6 \overline{) 80} \\ \underline{6} \\ 20 \\ \underline{18} \\ 2 \end{array}$$

$$6 \times 13 + \boxed{2} = 80$$

⋮
⋮
⋮
⋮

わる数 × 商 + あまり = わられる数

② 次の計算を筆算でしましょう。

ア

$$\begin{array}{r} 13 \\ 4 \overline{) 55} \\ \underline{4} \\ 15 \\ \underline{12} \\ 3 \end{array}$$

イ

$$\begin{array}{r} 23 \\ 9 \overline{) 252} \\ \underline{18} \\ 72 \\ \underline{72} \\ 0 \end{array}$$

問題

ゆうみさんの家には、ひな人形の7だんかざりがあります。
お母さんとゆうみさんが次のような話をしています。

ひなだんのかいだんの赤いじゅうたんがずいぶんよごれているわね。

新しいじゅうたんにはりかえてあげようよ。わたしも手つだうよ。

右の図の太い線のところに、じゅうたんをひくわね。どのくらいの長さを買えばいいかな。

かいだんの高さやはばの長さをはかってみたら、高さは、どのだんも同じ高さで15 cmでした。ひなだんの全体のはばは、1 m 19 cmでした。

(1) ひなだん1だんのはばは、何cmになるか答えましょう。式と筆算もかきましょう。

式 $119 \div 7$

筆算

$$\begin{array}{r} 17 \\ 7 \overline{) 119} \\ \underline{7} \\ 49 \\ \underline{49} \\ 0 \end{array}$$

答え (17) cm

さっそく、じゅうたんを買ってきたわよ。2m50 cmぶん買ってきただけれど、たりるかな？

計算してみるね。ひなだんに使うじゅうたんの長さを、次のようにもとめました。
 $119 + 15 \times 7$ だから、224 cmとなります。
2m50 cmは250 cmのことだから、224 cmより長いので、たります。

(2) ゆうみさんの式の 15×7 はどのようなことを計算している式ですか。言葉と数を使ってかきましょう。
「15」と「7」が何を表しているかがわかるようにかきましょう。

(例) 15はひなだん1だんの高さで、7はだんの数です。
15×7は、ひなだんの高さのぶんに使われるじゅうたんの長さを計算している式です。

チェック

次の問題に答えましょう。

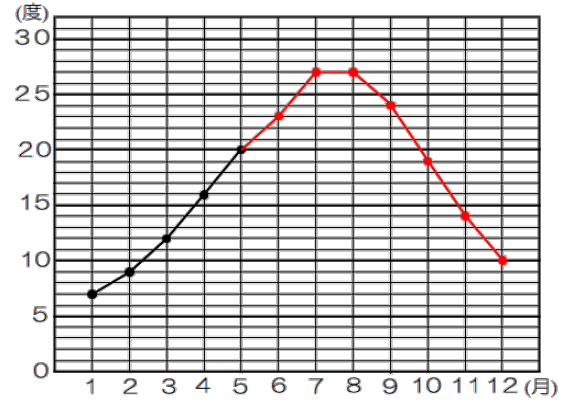
① 次の表は、月ごとの気温を調べたものです。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温(度)	7	9	12		20	23	27	27	24	19	14	10

② 表の4月の気温を答えましょう。

(16) 度

③ グラフのつづきを右のグラフにかきましょう。



問題

表1は、6月から9月までの4か月間の、遊園地と動物園の入園者数を調べたもので、表2は、遊園地の乗り物ごとの利用者数を調べたものです。



〔表1〕

	6月	7月	8月	9月	合計
遊園地	1974	3906	4402	3408	13690
動物園	1837	3511	3926	3083	12357

〔表2〕

ジェットコースター	かんらん車	ゴーカート	メリーゴーランド	合計
18286	12987	9121	5987	46381

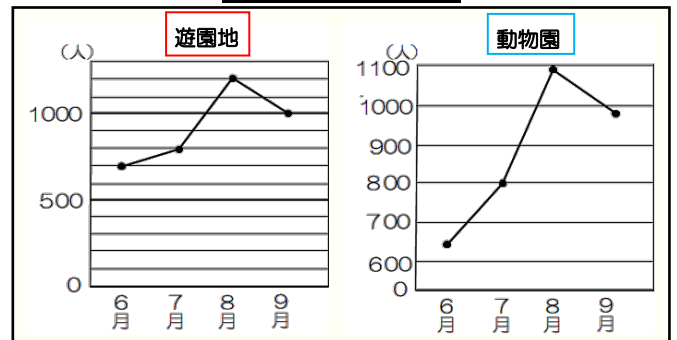
(1) 遊園地のスタッフが、6月から9月までの4か月間の入園者数や利用者数について話しています。

次のア～エの中で表1、表2だけではわからないものを1つえらび、記号に○をつけましょう。

- ア 遊園地も動物園も8月の入園者がいちばん多いですね。
- イ ジェットコースターの利用者がいちばん多いですね。
- ウ ウ 6月は、メリーゴーランドの利用者が少ないですね。
- エ 遊園地の入園者は、合計で13690人ですね。

(2) 遊園地と動物園のそれぞれの園長は、園と駅をむすぶシャトルバスを運行すれば、入園者がふえると考えました。そこで、6月から9月までの4か月間、シャトルバスの運行をためしてみました。右のグラフは、シャトルバスの利用者数の変わり方のようすを、折れ線グラフで表したものです。

シャトルバス利用者数



遊園地にくらべて、動物園のほうが、7月から8月までの線のかたむきが急です。だから、遊園地にくらべて動物園のほうが、7月から8月までのシャトルバスの利用者数のふえ方は大きいです。

さとるさんが言っている、_____の部分のことは正しくありません。そのわけを、グラフからわかるシャトルバス利用者数に注目して、言葉や数を使ってかきましょう。

(例) 7月から8月までのシャトルバスの利用者数は、遊園地が約400人ふえていて、動物園が約300人ふえています。だから、遊園地にくらべて動物園のほうが、7月から8月までのシャトルバス利用者数のふえ方は、大きくないです。

4年	4	一億をこえる数	組番 名前 ()
----	---	---------	--------------



次の問題に答えましょう。

- ① 次の () にあてはまることばをかきいれましょう。
 たし算の答えを (和), ひき算の答えを (差),
 かけ算の答えを (積), わり算の答えを (商) といいます。
- ② 数字でかきましょう。
 ア) 二兆^{ちほう}四千萬 (2400000000000)
 イ) 1000万を63こ集めた数 (630000000)

問題

むかしの算数の本に吉田光由がかいた「塵劫記(じんこうき)」という本があり、その中に「ねずみ算」についてかかれています。



吉田光由

正月に、ねずみ父母いでて、子を十二ひきうむ。おやともに十四ひきになる。このねずみ二月には、子もまた子を十二ひきづつうむゆへに、おやともに、九十八ひきに成。

(今の言い方にかえると) 1月に、ねずみの父母が、子ども12ひき(オス6ひき、メス6ひき)をうみます。すると、おやとあわせて14ひきになります。この父母ねずみと1月に生まれた子どもの14ひきで、7ペアでき、すべてのペアが子どもを12ひき(オス6ひき、メス6ひき)ずつうみます。すると、おやとあわせて全部で98ひきになります。

じゅんさんは、98ひきになる理由を次のようにせつめいしました。



1月は、おやが2ひきで1ペアです。
 1ペアが12ひきうむので、 $12 \times 1 = 12$ 、 $2 + 12 = 14$ だから、14ひきです。
 2月は、おやが14ひきで7ペアです。
 7ペアが12ひきずつうむので、 $12 \times 7 = 84$ 、 $84 + 14 = 98$ だから、98ひきです。

(1) じゅんさんのせつめいをもとに、3月のねずみの数をもとめるせつめいをするるとどのようになりますか。次のかきだしにつづけて、3月のねずみの数をもとめるせつめいを、言葉と式を使ってかきましょう。

3月は、おやが98ひきで、49ペアです。

(例) 49ペアが12ひきずつうむので、 $12 \times 49 = 588$ 、 $98 + 588 = 686$ だから、686ひきです。

かくのごとくに、月に一度ずつ、おやも子も、またまごもひこも月々に十二ひきづつうむ。時に、十二月にはなに程に成ぞ。年中の分、合二百七十六億八千二百五十七万四千四百二ひき也。

(今の言い方にかえると) このように、月に一度ずつ、おやも子も、またまごもひまごも、まい月12ひきずつうみます。12月には、どれくらいになると思いますか？

1年間で合わせて二百七十六億八千二百五十七万四千四百二ひきになる計算になります。

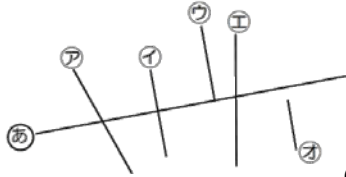
(2) 12月の「二百七十六億八千二百五十七万四千四百二」ひきを数字でかきましょう。

(27682574402)

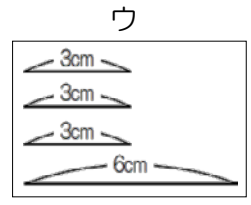
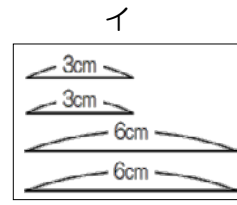
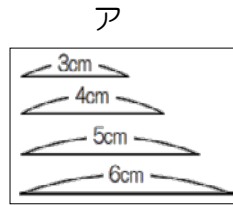
チェック

次の問いに答えましょう。

- ① 直線㊸と垂直すいちよくになっている直線をすべてえらびましょう。三角じょうぎを使って調べましょう。
- ② 平行四辺形になる辺の組み合わせを、次のア～ウから1つえらび、記号に○をつけましょう。

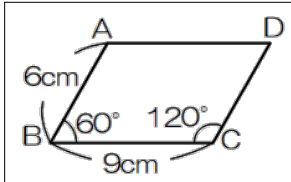


(①、②、③)



問題

平行四辺形には、右の特ちょうがあります。次のような平行四辺形をかきます。



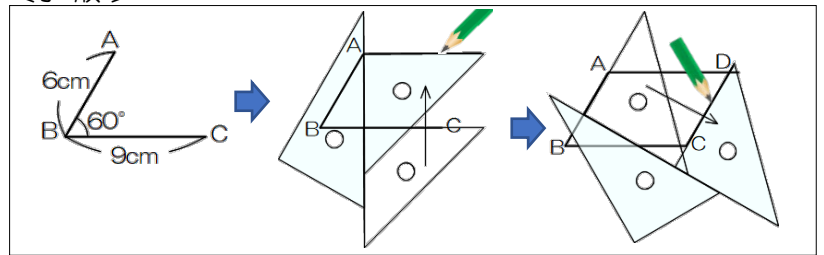
〔平行四辺形の特ちょう〕

平行四辺形は、

- ㊸ 向かい合った2組の辺がそれぞれ平行である。
- ㊱ 向かい合った2組の角の大きさがそれぞれ等しい。
- ㊲ 向かい合った2組の辺の長さがそれぞれ等しい。



〔手順〕



右の〔手順〕で、さいしょに角Bが60°になるように、辺ABとBCをかきました。そして、三角じょうぎを使って、点Aを通る直線と、点Cを通る直線をかきました。

(1) この手順を使ったかき方は、上の平行四辺形の特ちょうの中の、どの特ちょうをもとにしていますか。㊸～㊲から1つえらび、記号を答えましょう。

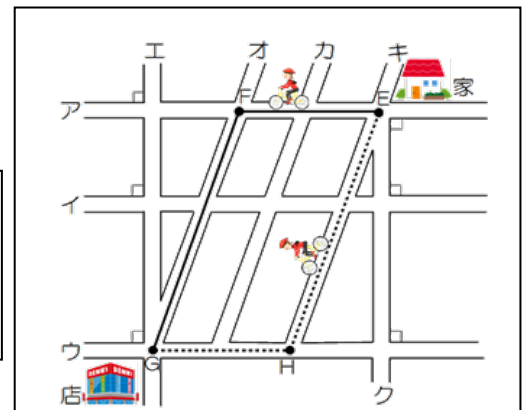
(①)

はるかさんは、右の地図を使って、家から店まで行くときの近道を考えています。交差点Fを曲がる——の道のりと、交差点Hを曲がる……の道のりを次のようにくらべました。

〔はるかさんの考え〕

EFとHGの道のりは等しく、FGとEHの道のりも等しいことがわかります。だから、EFとFGの道のりの和と、EHとHGの道のりの和は等しいです。このことから、交差点Fを曲がる——の道のりと、交差点Hを曲がる……の道のりは等しくなります。

はるかさんの考えにある、EFとHGの道のりは等しく、FGとEHの道のりも等しいことは、右の地図から見つかる図形の特ちょうを使うと説明できます。右の地図からどのような図形を見つけたらよいですか。また、図形のどのような特ちょうを使えばよいですか。図形と特ちょうを、言葉と地図にある記号を使ってかきましょう。



- 道路ア、イ、ウは平行です。
- 道路オ、カ、キは平行です。
- 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路工に垂直です。
- 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路クに垂直です。

(例) 地図には平行四辺形EFGHがあります。平行四辺形には、向かい合った2組の辺の長さがそれぞれ等しいという特ちょうがあります。

チェック

次の問題に答えましょう。□の中にかきいれましょう。

① 次の計算を筆算でしましょう。

ア $4.23 - 2.65$

イ $6.8 + 3.49$

$$\begin{array}{r} 4.23 \\ - 2.65 \\ \hline 1.58 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6.8 \\ + 3.49 \\ \hline 10.29 \end{array}$$

② □にあてはまる不等号をかきましょう。

ア $0 < 0.001$

イ $0.99 > 0.101$

③ □にあてはまる数をかきましょう。

ジュースが0.35Lあります。これは、

0.01Lが **35** 分です。

問題

はるなさんのクラスの女子で、走りはばとびの大会をします。グループのきろくの合計がいちばん長いグループが勝ちです。グループのきろくは、次のようになりました。



Aグループ (m)		Bグループ (m)		Cグループ (m)	
はるな	2.59	かえで	2.56	なずな	2.89
うらら	2.53	あき	2.57	ゆず	2.6
さくら	2.81	あかね	3	ふゆみ	2.51
やよい	2.72	りょう	2.49	つばき	



つばきさんは、今日、休みだったので、あす、きろくをはかります。

(1) はるなさんが、次のように話をしています。□①にあてはまる数、□②にあてはまるなまえの組み合わせで正しいものを、次のア～エから1つえらび、記号に○をつけましょう。



つばきさんをのぞいた11人の中で、わたしのきろくは、上から□①番目でした。わたしのきろく2.59(m)といちばん近いきろくだったのは、□②さんです。

ア ①…5 ②…あき イ ①…6 ②…あき ウ ①…5 ②…ゆず **エ ①…6 ②…ゆず**

(2) はるなさんとうららさんのきろくの差を、右のように計算しました。この計算の答えはまちがいです。そのわけをせつめいし、正しい答えをかきましょう。

$$\begin{array}{r} 2.59 \\ - 2.53 \\ \hline 6 \end{array}$$

(例) 0.01が6こぶんのことだから、答えは、0.06です。

(3) Cグループが勝つには、つばきさんは何mより長くとべばよいか答えましょう。もとめ方を言葉や式を使ってかきましょう。答えは()の中にかきましょう。

(例) Aグループ、Bグループのそれぞれのきろくの合計をもとめます。

Aグループは、 $2.59 + 2.53 + 2.81 + 2.72 = 10.65$ で、10.65mです。

Bグループは、 $2.56 + 2.57 + 3 + 2.49 = 10.62$ で、10.62mです。

だから、Aグループの10.65mより長くとべばよいことがわかります。

つばきさんをのぞいた3人のきろくは、 $2.89 + 2.6 + 2.51 = 8$ で8mです。

つばきさんは、 $10.65 - 8 = 2.65$ で、2.65mより長くとべば勝てます。

答え (**2.65**) m



次の問いに答えましょう。

① 次の計算をしましょう。

㊸ $63 \div (21 \div 3)$
 $= 63 \div 7$
 $= 9$

答え (9)

㊹ $5 \times 9 - 8 \div 4$
 $= 45 - 2$
 $= 43$

答え (43)

② 子ども会に14人のこどもがいます。子ども1人につき、プレーンクッキー2まいとチョコクッキー3まい配ります。配るクッキーは、ぜんぶで何まいになりますか。



この問題の答えをもとめるときの正しい式を、次のア～エからすべてえらび、記号に○をつけましょう。

ア $14 \times 2 \times 3$ **イ** $2 \times 14 + 3 \times 14$ **ウ** $(2 + 3) \times 14$ エ $14 \times (2 + 3)$

問題

ゆうきさんの住む地区で、夏祭りがありました。ゆうきさんは、そのことを日記にかきました。

きのう夏祭りがありました。たくさんの人が来ていました。今日の新聞に、おとなが198人、子どもが245人来ていたとかいてありました。

祭りで、いちばんもりあがるのが、おみこしです。おとなの人が、自分で作ったおみこしを4人1組でかつぎ、1200mの道路を走ります。今年は、きょ年よりも3組ふえて、19組がさんかしていました。どのおみこしもかつこよかったです。ぼくも、いつかおみこしを作りたいです。

祭りでは、出店がたくさん出ていました。かき氷屋さんでは、350円の太陽のたまご味が82こと、320円のめろめろメロン味が95こ売れたそうです。

ぼくは、おこづかいを1000円もらったので、1回250円のしゃ的を1回と、1回150円の金魚すくいを2回しました。金魚が3びきすくえました。らい年の夏祭りが待ち遠しいです。



(1) ゆうきさんは、下線の部分について、おつりをもとめる式を考えています。



遊んだもの の代金	しゃ的1回 250	+	金魚すくい2回 150×2	=	550
おつり	出したお金 1000	-	遊んだものの代金 550	=	450
答え	450円				

ゆうきさんは、上の図をみて、次のように言いました。



おつりをもとめる式は、出したお金 - 遊んだものの代金 なので、上の2つの式は、 $1000 - 250 + 150 \times 2$ というように、1つの式で表すことができます。

ゆうきさんの式では、おつりが450円になりません。

おつりの450円が正しく求められるように、右の式に

() をかきいれましょう。

$$1000 - (250 + 150 \times 2)$$

(2) ゆうきさんの日記をみて、先生が式をつくりました。この㊸、㊹の式はそれぞれどのような数をもとめているかを説明しましょう。

㊸ $350 \times 82 + 320 \times 95$

(例) かき氷屋で、太陽のたまご味とめろめろメロン味のかき氷が売れた合計金がく。

㊹ $4 \times (19 - 3)$

(例) きょ年、おみこしにさんかした人数。

チェック

次の問いに答えましょう。

① 次の計算を筆算でしましょう。

$$\begin{array}{r} 32 \\ 26 \overline{) 832} \\ \underline{78} \\ 52 \\ \underline{52} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 10 \\ 63 \overline{) 691} \\ \underline{63} \\ 61 \\ \underline{61} \\ 0 \end{array}$$

② $5000 \div 250$ と答えが同じになるわり算をつくれます。 にあてはまる数をかきいれましょう。

ア $50000 \div$

イ $\div 1000$



問題

もうすぐ運動会です。たかしさん、なみさん、かおりさんの3人は、運動会のじゅんぴの係になりました。じゅんぴでつくるのは、1人80cmのはちまきと、ダンスで使う紙でつくった花です。4年生の48人分をじゅんぴします。

先生が、ぬのを4000cm、1ふくろが150まい入りの紙を5ふくろ用意しています。3人は、今ある、ぬのと紙がたりるかどうかにについて考えています。

1人分のざいりょう

- | | |
|--|--|
| [はちまき] | [花] |
| ・ぬの80cm | ・紙16まい
(かた手が8まい) |
|  | ・わゴム2本  |

(1) 48人分のはちまきをつくるのに、ぬの4000cmでたりかどうかを、それぞれの式で考えています。



$$80 \times 48 = 3840$$



$$4000 \div 80 = 50$$



$$4000 \div 48 = 83 \text{あまり} 16$$

3人は、式をつくって計算し、ぬのはたりるとわかりました。上の3人の式は、それぞれ何を調べるための式ですか。次の①～③の中から1つずつえらんで、それぞれ番号をかきましょう。

- ① 今あるぬのから、はちまきを何本分とることができるか。
 ② 今あるぬのから、1人分が何cmとることができるか。
 ③ 全員分のはちまきをつくるのにひつような長さは何cmか。

たかし	③
なみ	①
かおり	②



次に、花を作るための紙がたりかどうかについて考えます。さっき、ぼくはかけ算の式で考えたから、今度はわり算の式で考えてみるよ。

(2) たかしさんは、紙がたりるかたりないかを、なみさんかかおりさんのようにわり算の式で考えることにしました。なみさんとかかおりさんのどちらかすきな方の考え方をえらび、式や言葉を使ってせつめいをかきましょう。かきだしの文の()のえらんだ方にOをつけ、かきだしにつづけてかきましょう。

紙は(たりる ・ たりない)とわかりました。そのわけを(なみ ・ かおり)さんの考え方をを使ってせつめいします。はじめに、先生が用意した紙のまい数を計算すると、

(例) $150 \times 5 = 750$ で、750まいあります。

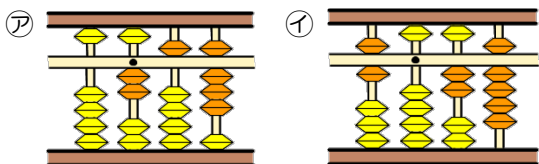
[なみさん] この紙で、何人分作ることができるかを計算すると、
 $750 \div 16 = 46$ あまり14だから、あと2人分たりません。

[かおりさん] この紙で、1人に何まいずつがあるかを計算すると。
 $750 \div 48 = 15$ あまり30だから、16まいにならない人がいるので、たりません。

チェック

次の問いに答えましょう。

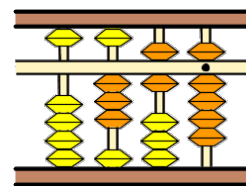
① 次の数をよみましょう。



(2. 58) (60. 29)

② そろばんでは、おつりを調べるのにも役立ちます。

Aさんが買い物をした代金を、そろばんにおくと、右の図のようになります。1000円だしたときのおつりは、いくらか答えましょう。



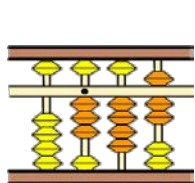
(631) 円

問題

このみさんとけんたさんは、そろばんを使って小数の計算をしています。



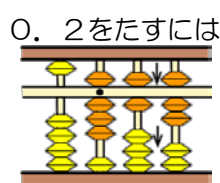
3. $47 + 5.23$ をそろばんて計算します。



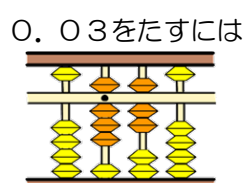
① 3.47を入れる。



② 5を入れる。

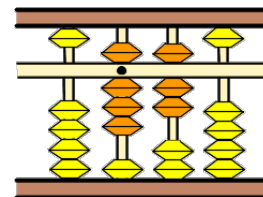


③ 0.5を入れて、0.3をはらう。



④

このみさんが、「0.03をはらう」の④で、そろばんのたまを入れたりはらったりしたあとにできた、そろばんの図を大きくすると、右のようになります。



(1) 右のそろばんの図の数を讀んだとき、正しく讀めているものを、次のア～エから1つえらんで、記号に○をつけましょう。

ア 0.87 イ 8.70 **ウ 8.7** エ 0.870

(2) このみさんが④でおこなったことを、①、②、③を参考にしてかきましょう。

(例) 0.07をはらって、0.1を入れる。

けんたさんは、そろばんて $6.52 - 3.85$ を計算しました。

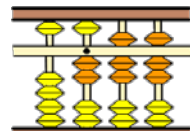
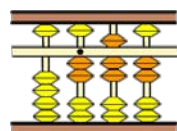
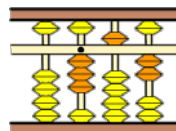
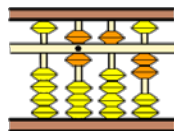


① 6.52を入れる

② 3をひく

③ 0.8をひく

④ 0.05をひく



答え 2.77

けんたさんは、先生に答えがまちがえていると言われ、たしかめてみると、②、③、④のあるだんかいで、まちがえていることに気づきました。まちがえているのは②～④のどのだんかいか答えましょう。また、まちがえたわけを答えましょう。

まちがえているだんかい (④)

(例) 0.05を入れる前に、 $\frac{1}{10}$ の位から0.1をはらうのをわすれているから。

チェック

次の問いに答えましょう。

① 面積が 126cm^2 の長方形をかこうと思います。

たての長さを 14cm にすると、横の長さは何 cm にすればよいか答えましょう。もとめる式も答えましょう。

式 ($126 \div 14$)

(9) cm^2

② 一辺が次の長さの正方形の面積の単位を答えましょう。

・1辺が 1m の正方形 → 1 (m^2)

・1辺が 10m の正方形 → 1 (a)

・1辺が 100m の正方形 → 1 (ha)

・1辺が 1km の正方形 → 1 (km^2)

③ 線で結びましょう。

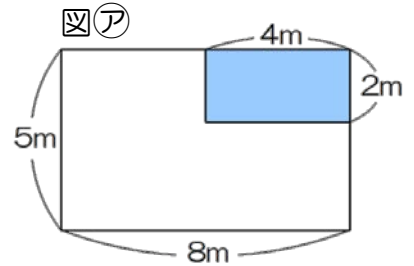
宮崎県の面積	→	7000km^2
はがきの面積	→	2400cm^2
プールの面積	→	150cm^2
つくえの面積	→	370m^2

問題



公園に、花だんをつくります。たてが 5m 、横が 8m 分の土地のうち、一部分を、しばふにしたいと思っています。

右の図②のような、たてが 5m 、横が 8m の長方形の形をした花だんがあります。この中に、たてが 2m 、横が 4m の長方形の の部分をつくり、しばふの部分にします。



(1) の部分のまわりにロープをはります。ロープの長さは、どのような式でもとめられますか。次のア～オから2つえらび、記号に○をつけましょう。

ア $4+2$ イ 4×2 **ウ** $4+2+4+2$ エ $4 \times 2 \times 2$ **オ** $(4+2) \times 2$

(2) 花だんの白い部分 に、パンジーをうえます。

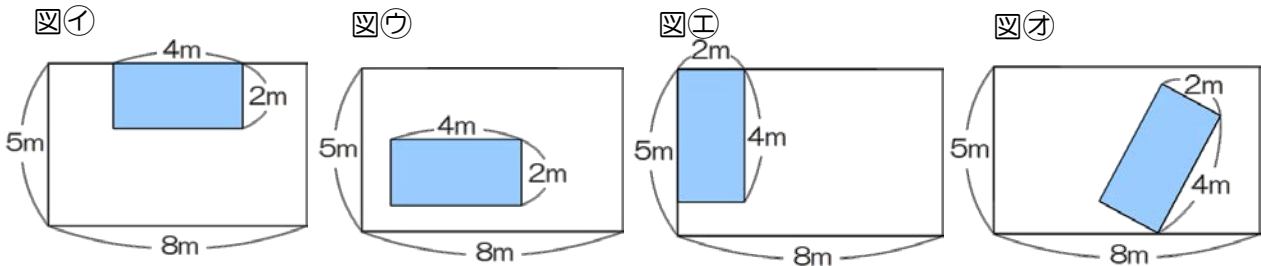
の部分の面積は、どのような式でもとめられますか。次のア～エから1つえらび、記号に○をつけましょう。



ア $2 \times 4 + 2 \times 8$ **イ** $5 \times 8 - 2 \times 4$ ウ $4 \times 8 - 2 \times 5$ エ $2 \times 8 - 2 \times 5$

(3) 次の図①、②、③、④は、たてが 5m 、横が 8m の長方形の形をした花だんです。

この中に、たてが 2m 、横が 4m の長方形の の部分があります。図①、②、③、④の白い部分の面積は、図②の の部分の面積と同じになります。なぜ、面積が同じになるのですか。そのわけを、言葉や式や図を使ってかきましょう。



(例) すべて $5 \times 8 - 2 \times 4$ の式で、白い部分の面積をもとめることができるから。

チェック がい数についての次の問いに答えましょう。

- 7064023を、四捨五入で一万の位までのがい数にしましょう。 (7060000)
- 408926を、四捨五入で上から2けたのがい数にしましょう。 (410000)
- 四捨五入で、十の位までのがい数にしたとき、680になる整数のはんいを、以上と未満を使って表しましょう。 (675) 以上 (685) 未満

問題

よしおさんは、家族で商店街^{がい}に買い物にきています。今日は洋服と食料品^{りょう}を買います。



まず、洋服店で家族みんなのセーターを買うわよ。洋服に使う予算は10000円ね。



右の表の4まいのセーターを10000円で買うことができるか、

人物	父	母	姉	よしお
ねだん(円)	2578	2967	1985	1782

「切り捨てる」「四捨五入」「切り上げ」の3つの方法で考えています。



「切り捨てる」で、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数 2578 2967 1985 1782
 およその数の計算 2000+2000+1000+1000=6000
 実さいの数より小さい数にして和が6000だから、6000円以上であることがわかります。

- (1) 四捨五入して計算します。□にあてはまる数をかきいれましょう。

四捨五入をして、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数 2578 2967 1985 1782
 およその数の計算 3000 + 3000 + 2000 + 2000 = 10000

実さいの数に近い数にして和が10000だから、約10000円であることはわかります。

- (2) 切り上げて計算します。㊦に入るふさわしい文を下のア～エから1つえらび、記号に○をつけましょう。

「切り上げる」で、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数 2578 2967 1985 1782
 およその数の計算 3000+3000+2000+2000=10000

㊦

- 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、10000円でたりる。
- 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、10000円でたりない。
- 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、10000円でたりる。
- 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、10000円でたりない。



食料品店で福引きをしているって。1000円以上買うと、券を1まいもらえるそうよ。右の4つを買ったら、福引き券はもらえるかな？

食パン	魚	りんご	肉
138円	328円	216円	402円

およその数にして、福引き券がもらえるか調べます。「切り捨てる」「四捨五入」「切り上げ」の3つの方法のうち、もっともふさわしい方法を使って、もらえるかももらえないかを式や言葉を使ってせつめいしましょう。

(例)「切り捨てる」で百の位までのおよその数にして計算すると、100+300+200+400で、1000円です。実さいの数より小さい数にして和が1000だから、1000円以上になるので、福引き券はもらえます。

チェック

次の問いに答えましょう。

① 筆算でしましょう。

$$\begin{array}{r} 0.67 \\ \times 25 \\ \hline 335 \\ 134 \\ \hline 16.75 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ 31 \overline{) 83.7} \\ \underline{62} \\ 217 \\ \underline{217} \\ 0 \end{array}$$

② 白いテープの長さは5 cmで、赤いテープの長さは12 cmです。赤いテープは白いテープの長さの何倍ですか。式と答えをかきましょう。

式 ($12 \div 5$)

答え (2.4) 倍

問題

宮崎県は、切干大根の生産量が日本一で、国富町は、県内で一番の生産量です。冬には、写真のような干し棚(たな)に、千切りにした大根をしきつめるようすがあちらこちらで見られます。



わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、田んぼに干し棚を作って切干大根を作っています。干し棚の広さについて、おじいちゃんとおばあちゃんに聞いてみました。



わたしの干し棚は、たてが1.5m、横が10mで、同じ棚が3つあるよ。



わたしの干し棚は、たてが1.2m、横が18mで、同じ棚が2つあるよ。

しずかさんは、おじいちゃんとおばあちゃんの干し棚の広さでは、おじいちゃんの面積の方が広いと考え、そのわけをせつめいすることにしました。



〔しずかさんのせつめい〕
おじいちゃんの干し棚の1つ分の面積は、 $1.5 \times 10 = 15$ だから、 15 m^2 です。同じ棚が3つあるので、 $15 \times 3 = 45$ だから、 45 m^2 です。

(1) 〔しずかさんのせつめい〕につづけて、おばあちゃんの干し棚の面積をもとめ、おじいちゃんの面積の方が広いことをせつめいしましょう。

(例) おばあちゃんの干し棚の1つ分の面積は、 $1.2 \times 18 = 21.6$ だから、 21.6 m^2 です。同じ棚が2つあるので、 $21.6 \times 2 = 43.2 \text{ m}^2$ です。だから、 $45 - 43.2 = 1.8$ で、おじいちゃんの干し棚の方が 1.8 m^2 広いです。

給食で、切干大根を使ったメニューに出たとき、先生が次のように話をしました。



生の大根 100g を干すと、約 8g になるそうだよ。大根は、ほとんど水分できているんだね。生の大根の重さは、干した大根の重さの何倍になっているのかな。

(2) しずかさんは、下線の部分の先生のしつ問に答えるために、図と式をつくって考えました。次のア～エから正しいものを1つえらび、記号に○をつけましょう。

<p>ア</p> <p>100 ÷ 8 = 12.5 だから、12.5 倍</p>	<p>イ</p> <p>100 ÷ 8 = 12.5 だから、12.5 倍</p>	<p>ウ</p> <p>8 ÷ 100 = 0.08 だから、0.08 倍</p>	<p>エ</p> <p>8 ÷ 100 = 0.08 だから、0.08 倍</p>
---	---	---	---

4年	13	調べ方と整理の仕方	組番 名前 ()
----	----	-----------	--------------

チェック

次の問いに答えましょう。

あるクラブの4年生以上の児童が、Tシャツをつくります。Tシャツの色
の希望を聞いたところ、次のようになりました。右の表にまとめましょう。

4年赤	5年黄	6年赤	4年青	6年赤	5年黒	6年黒	6年黄
5年黒	4年青	5年赤	6年黄	5年赤	5年黄	5年黒	6年黄
5年赤	6年青	6年黒	5年黄	6年黄	4年黒	5年赤	4年黄

	4年	5年	6年	合計
赤	1	4	2	7
青	2	0	1	3
黄	1	3	4	8
黒	1	3	2	6
合計	5	10	9	24

問題

宮崎県の観光地をめぐるスタンプラリーが行われています。空港に右のようなポスターがはられていて、他の県からおとすれた観光客の人が見えています。

さきさんは、ポスターを見て、スタンプカードを取った人に、「どの空港から来たか」と「今日、最初に行く観光地はどこか」を聞き、結果を表にまとめました。

ポイントを集めて記念品をゲット！
個人で10ポイント以上、グループ（1グループ5人まで）で、35ポイント以上集めたら、宮崎の記念品を差し上げます。
ちょう戦したい人は、スタンプカードを取ってね。

空港	人数(人)	観光地	人数(人)
伊丹いたみ	21	青島神社 あおしまじんじや	19
名古屋なごや	16	綾照葉大吊橋 あやてるはおおつりばし	10
羽田はねだ	12	西都原古墳群 さいとぼるこらんぐん	9
福岡ふくおか	5	高千穂峡 たかちほきょう	7
那覇なは	3	えびの高原 えびのこうげん	6
合計	57	都井岬 といみさき	6
		合計	57



上の表では、どの空港からきた人が、どの観光地に最初に行こうと考えているかがわからないね。別の表を作ったほうがよさそうです。

観光地 空港	青島神社	綾照葉大吊橋	西都原古墳群	高千穂峡	えびの高原	都井岬
伊丹	7	2	5	3	2	2
名古屋	5	3	1	2		1
羽田	7	2	3	0	0	0
福岡	0	0	0	2	0	3
那覇	0	3	0	0	0	0

さきさんは、上の表を右の表のように作り変えました。

このとき、次の問いに答えましょう。

(1) 右の表の中の にあてはまる数を答えましょう。

(4)

(2) 福岡空港から来た5人は、同じグループです。5人は、2番目に行く観光地を、グループの人がまだ1人も行っていない観光地からえらび、5人全員で行くことにしました。2番目の観光地に行くと、ポイントの合計が35ポイント以上になるようにするには、どの観光地をえらべばよいですか。すべてえらび、○をつけましょう。また、そのわけを数や言葉、式を使ってかきましょう。

青島神社 綾照葉大吊橋 西都原古墳群 高千穂峡 えびの高原 都井岬

(例) 最初に行った観光地でもらったポイントは、 $5 \times 2 + 4 \times 3 = 22$ だから、22ポイントです。35ポイント以上にするためには、 $35 - 22 = 13$ で、あと13ポイント必要です。
5人で13ポイントにするには、 $13 \div 5 = 2.6$ だから、1人が3ポイント以上となる観光地に行く必要があります。まだ行っていないところで3ポイント以上の場所は、綾照葉大吊橋かえびの高原です。

チェック ✓

次の問いに答えましょう。

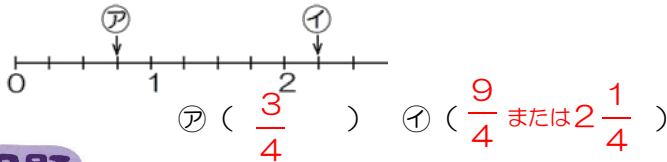
① 帯分数は仮分数に、仮分数は帯分数に
しましょう。

㊦ $\frac{10}{3}$ ($3\frac{1}{3}$) ㊧ $4\frac{2}{5}$ ($\frac{22}{5}$)

② 次の計算をしましょう。

㊦ $\frac{6}{5} + 1\frac{4}{5}$ ㊧ $\frac{18}{7} - \frac{5}{7}$
 $= \frac{6}{5} + \frac{9}{5} = 1\frac{1}{5} + 1\frac{4}{5}$ $= \frac{13}{7}$
 $= \frac{15}{5} = 1 + 1 + 1 = 3$

③ 次の数直線で、↓にあたる数を答えましょう。

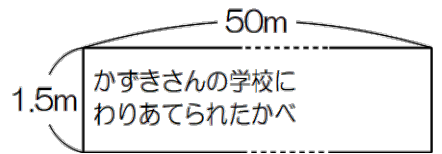


($\frac{15}{5}$ または 3) ($\frac{13}{7}$ または $1\frac{6}{7}$)



問題

ある町では、町内にある小学校の児童が、全長 144m のぼう波てい
 (波をおさえて港を静かにたもつ) のかべに絵をえがき、景観をよくする取
 組をしています。かずきさんの学校は、長さ50m分のかべがわりあてら
 れました。かずきさんとたつみさんは、かべの下地をぬることにしました。



10分で $\frac{9}{5}$ m をぬることができるよ。
 毎日30分ずつ作業します。



15分で $2\frac{3}{5}$ m をぬることができるよ。
 毎日30分ずつ作業します。

(1) かずきさんとたつみさんがそれぞれ1日でぬることができるかべの長さをくらべます。
 かずきさんとたつみさんでは、どちらのほうが多くぬることができますか。次のア～ウから1つえらび、
 記号に○をつけましょう。また、その番号をえらんだわけを、言葉や式を使ってかきましょう。

㊦ かずきさんのほうが多い。 イ たつみさんのほうが多い ウ かずきさんとたつみさんは同じ。

(例) かずきさんは、 $\frac{9}{5} + \frac{9}{5} + \frac{9}{5} = \frac{27}{5}$ で、1日に $\frac{27}{5}$ m ぬることができます。
 たつみさんは、 $2\frac{3}{5} + 2\frac{3}{5} = \frac{26}{5}$ で、1日に $\frac{26}{5}$ m ぬることができます。
 だから、かずきさんのほうが、 $\frac{1}{5}$ m 多くぬることができるからです。

かずきさんとたつみさんは、2人で毎日作業をすると、5日以内で作業が終わると考えています。
 かずきさんは、そのわけを次のようにせつめいしています。

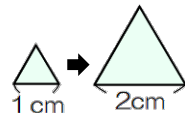


$\frac{27}{5} + \frac{26}{5} = 5\frac{2}{5} + 5\frac{1}{5} = 10\frac{3}{5}$ だから、 $10\frac{3}{5}$ m です。
 $10\frac{3}{5}$ m は、10 m と $\frac{3}{5}$ m をあわせた長さです。10mがあるから、5日で50mになり
 ます。だから、5日以内で作業は終わります。

(2) $10\frac{3}{5}$ m は、何をもとめていますか。答えをかきましょう。

(例) 2人で作業して、1日にぬることができる合計の長さ。

チェック 次の問いに答えましょう。



① 正三角形の1辺の長さを、1cm、2cm、3cm、…と変えたときのまわりの長さを調べ、右の表にまとめました。

1辺の長さ (□cm)	1	2	3	4
まわりの長さ (△cm)	3	6	9	12

② 1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとして、□と△の関係を正しく表している式を、次のア〜エから1つえらび、記号に○をつけましょう。

- ア $\Delta \div 3 = \square$ イ $\square + 3 = \Delta$ ウ $\Delta \times 3 = \square$ **エ** $\square \times 3 = \Delta$

③ まわりの長さを99cmにするためには、1辺の長さを何cmにすればよいか答えましょう。

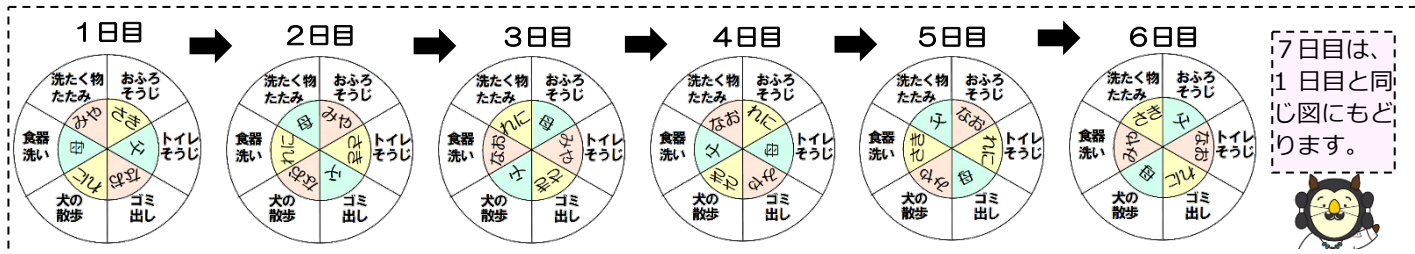
(33) cm



問題

さきさんの家では、家族で協力し、家事を分たんしています。右の図は、さきさんの家の家事当番表です。中の円を、毎日1つずつ右回りに回して当番の仕事が決まります。

今日は2月1日で、当番表は次の図の「1日目」と同じになりました。



(1) 2月11日の当番表は、上の1日目から6日目までの当番表のどれと同じになりますか。1つえらび、記号で答えましょう。

(5) 日目

(2) さきさんは、2月中（この年の2月は28日まで）にお風呂そうじをする日を、すべてもとめました。〔さきさんのもとめ方〕



私が最初にお風呂そうじをするのは、1日です。当番表は、6日でひと回りします。だから、私がお風呂そうじをする日は、 $1 + 6 \times (\text{当番表がひと回りした回数})$ でわかります。この式にあてはめて表すと、次のようになります。

$1 + 6 \times 0 = 1$ 、 $1 + 6 \times 1 = 7$ 、 $1 + 6 \times 2 = 13$ 、 $1 + 6 \times 3 = 19$ 、 $1 + 6 \times 4 = 25$ 、 $1 + 6 \times 5 = 31$ です。しかし、2月は、28日までだから、31にはなりません。

このことから、2月中に私がお風呂そうじをするのは、1日、7日、13日、19日、25日です。

さきさんは、同じもとめ方で、2月中に犬の散歩をする日をすべてもとめることにしました。

〔もとめ方〕の には数を、 には式と言葉を、() には言葉をかきいれましょう。

〔もとめ方〕

最初に犬の散歩をするのは、 日です。当番表は、6日でひと回りします。

だから、犬の散歩をする日は、 + $6 \times (\text{当番表がひと回りした回数})$ でわかります。この式にあてはめて表すと、次のようになります。

(例) $4 + 6 \times 0 = 4$ 、 $4 + 6 \times 1 = 10$ 、 $4 + 6 \times 2 = 16$ 、 $4 + 6 \times 3 = 22$ 、 $4 + 6 \times 4 = 28$ 、 $4 + 6 \times 5 = 34$ です。しかし、2月は28日までだから、34にはなりません。

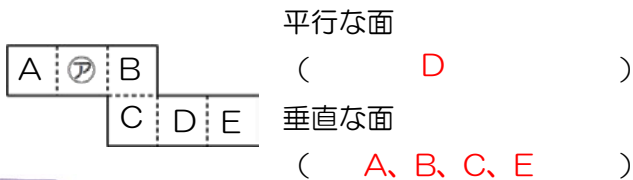
このことから、2月中に犬の散歩をするのは、() です。

チェック

次の問いに答えましょう。

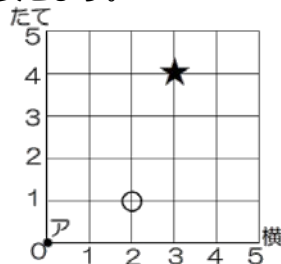
① 次の立方体のでん開図を組み立てます。

できあがった立方体で、②の面と平行な面と垂直な面をA~Eの記号ですべて答えましょう。



② 次の図で、点アをもとにすると、○の位置は、(横2、たて1)のように表せます。

このとき、★の位置を表しましょう。



問題

わかさんのクラスで、卒業する6年生へプレゼントをおくることになりました。プレゼントを入れる箱について、わかさんはこうじさんに相談をしています。



私は、右の絵のような1辺が30cmの立方体の箱にプレゼントを入れて、リボンをかけたいと思っているのだけど、リボンはどのくらいの長さがあるかな？



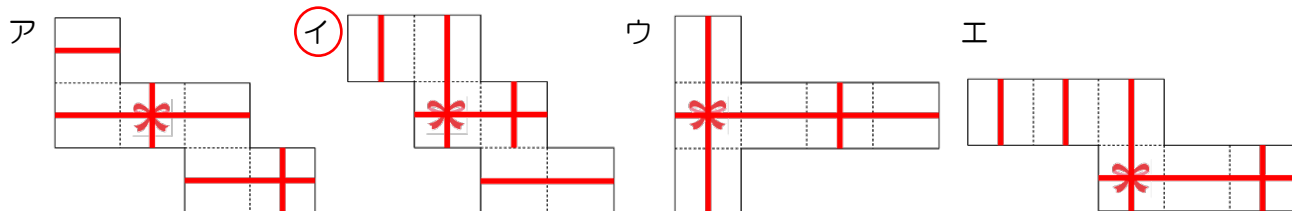
そうだね、リボンの結び目 のところは、だいたい80cmくらい必要だと思うよ。あとは、でん開図をかいてみたら長さもわかりそうだよね。



上の面と下の面でリボンが交さっているよ。



(1) わかさんは、でん開図をかき、リボンのとおっているところに線を引くことで、リボンの長さを調べました。次のア~エには、リボンがとおっている線が正しくかけていないでん開図が1つあります。そのでん開図の記号に○をつけましょう。また、そのわけをかきましょう。



わけ

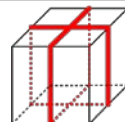
(例) イの展開図では、リボンが交さっている面がとなり合っているから。



でん開図をかいたら、立方体のどの面もかならず1回リボンがとおることと、リボンがたてと横に交さる面が2つできることがわかりました。結び目の80cmを合わせれば、必要なリボンの長さがわかりそうです。



ぼくは、見取図をかきました。見取図をみると、結び目から、リボンが2周していることがわかりました。結び目の80cmを合わせれば、必要なリボンの長さがわかりそうです。



(2) わかさんと、こうじさんの考え方は、次の のどの式にあてはまるかア~ウからそれぞれ1つずつえらび、記号で答えましょう。

ア $(30 \times 6) + (30 \times 2) + 80$

イ $(30 \times 8) + 80$

ウ $(30 \times 4) \times 2 + 80$



さんの式 (ア)



さんの式 (ウ)